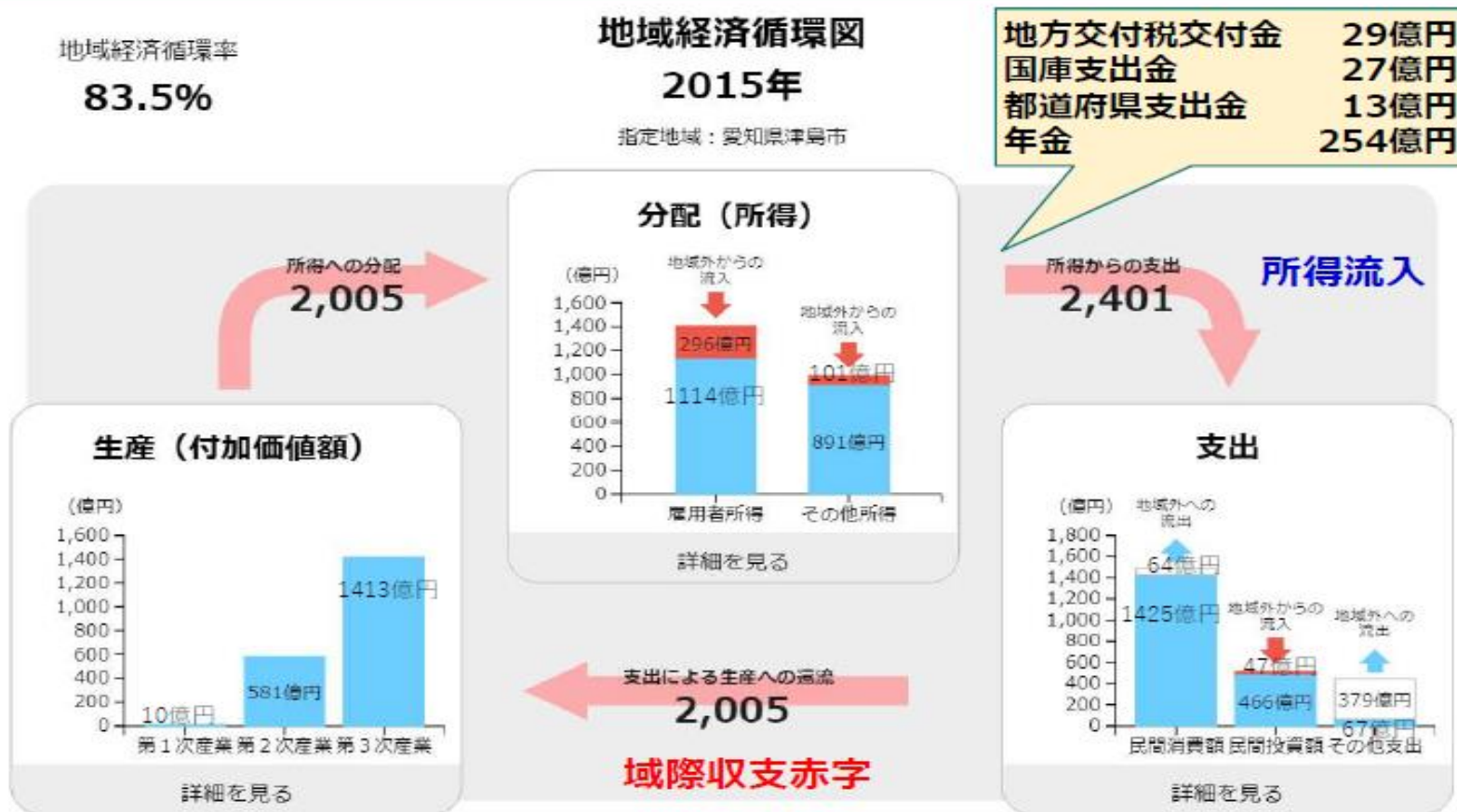


RESASとは国が提供するビッグデータの代表的なもので、地域経済の実情を「見える可（可視化）」することで、客観的なデータの取得・分析が容易となりました。効果的な事業の立案、実行、検証などにお役立てください。

下記は津島市内の統計データ（要約版）となります。

## 地域経済循環図(2015年)

7



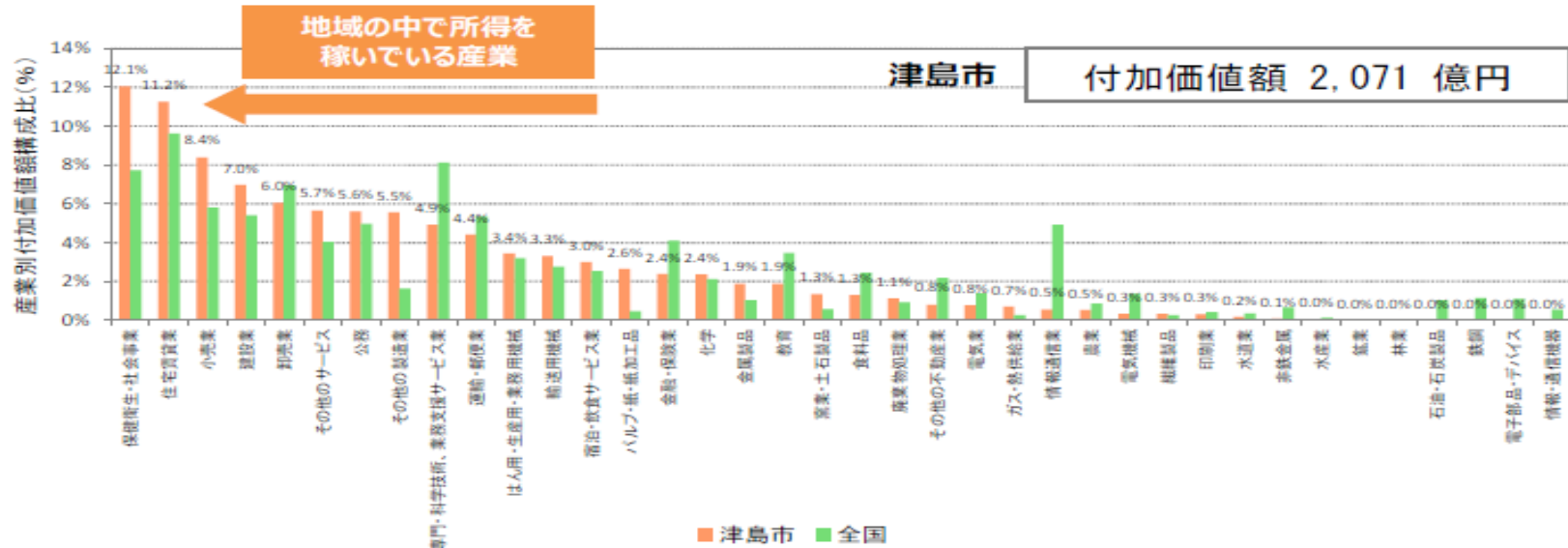
※RESASでの算出上、所得流入は域際収支のプラスとなるという仮定だが、現実の地域経済ではプラス・マイナスが生じる点に注意。

出典：環境省「地域産業連関表」、「地域経済計算」  
(株式会社価値総合研究所(日本政策投資銀行グループ)受託作成)

## 地域で所得(付加価値)を稼いでいる産業は何か

- 付加価値額が大きな産業は、保健衛生・社会事業、住宅賃貸業、小売業、建設業で、これらの産業が地域を支えている。
- 付加価値額のうち、1次産業が0.5%、2次産業が29.0%、3次産業が70.5%を占める。  
(全国平均：1次産業：1.1%、2次産業：26.6%、3次産業：72.3%)

### 産業別付加価値額



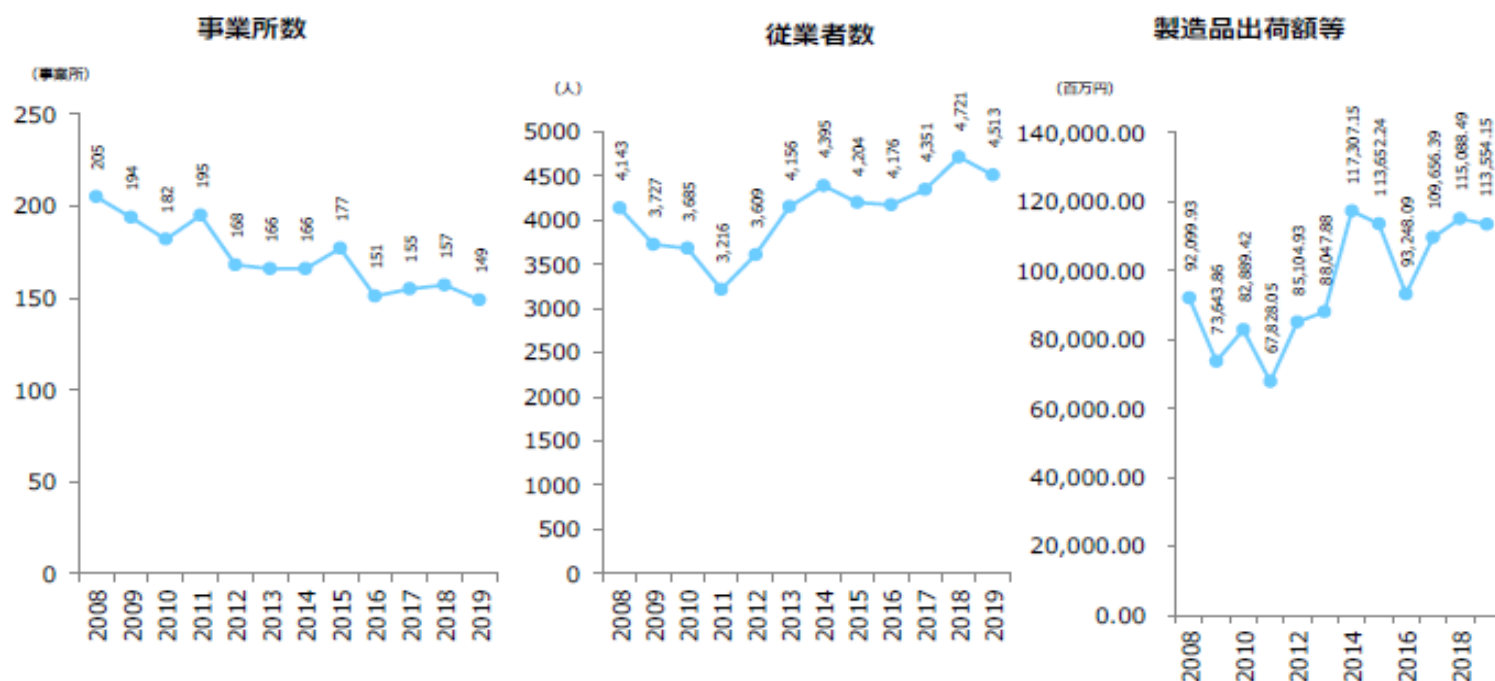
注)GDP統計の不動産業には帰属家賃が含まれており、地域経済循環分析用データの産業分類では第3次産業の住宅賃貸業に帰属家賃が含まれている。帰属家賃は、実際には家賃の支払いを伴わないものである。

出典：環境省「地域経済循環分析用データ」、総務省統計局「国勢調査」より作成

## 製造業事業所数・従業者数・製造品出荷額等の推移

10

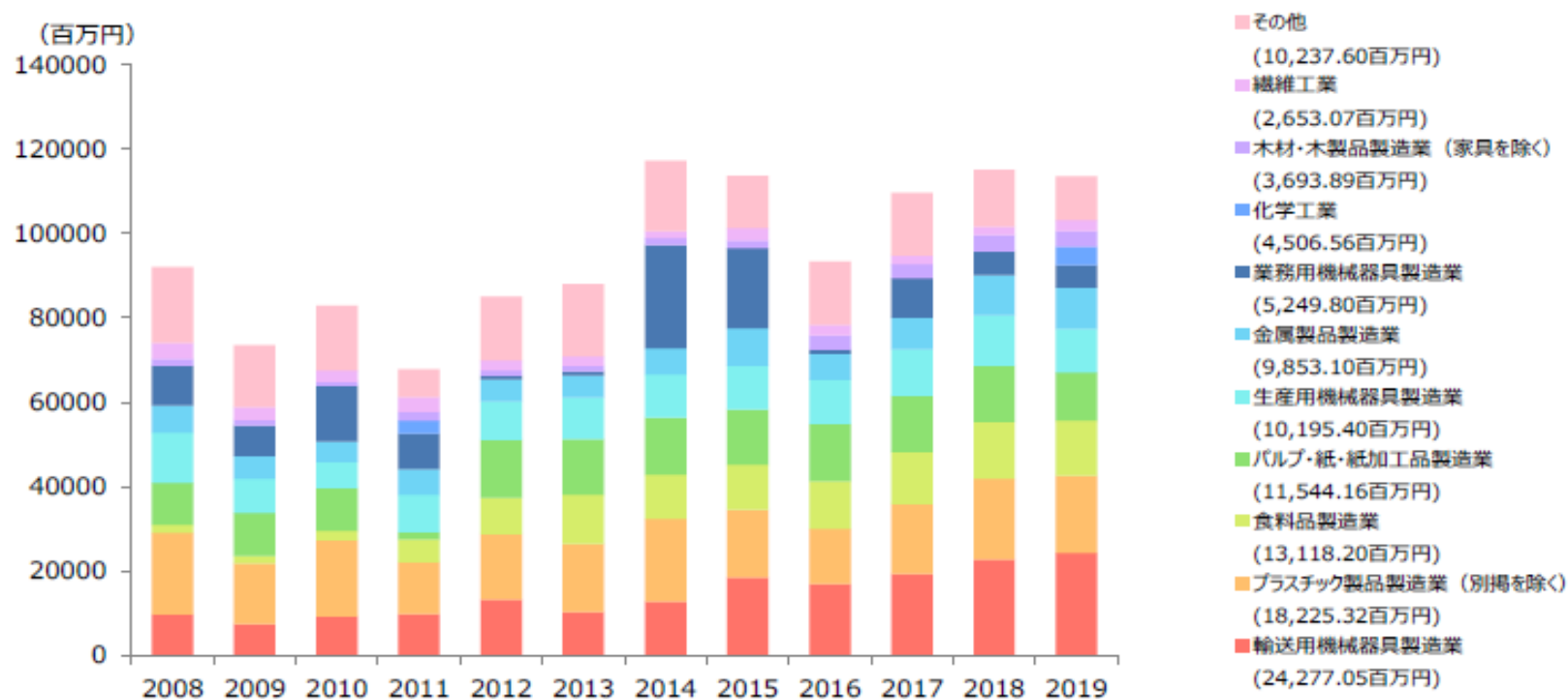
- 製造業の事業所数は緩やかに減少している一方で、従業員数は増加している。
- 製造品出荷額は、上下変動する傾向があるものの、全体的には右肩上がりの傾向。



出典： 経済産業省「工業統計調査」再編加工、総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」再編加工、総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」  
留意点： 従業員数4人以上の事業所が対象。

## 産業別製造品出荷額等の変化

- 製造品出荷額の内訳は輸送用機械器具製造業、プラスチック製品製造業等が多くを占める。
- 上下変動する要因は、主に業務用機械器具製造業によるもの。輸送用機械器具製造業、食料品製造業は増加している。

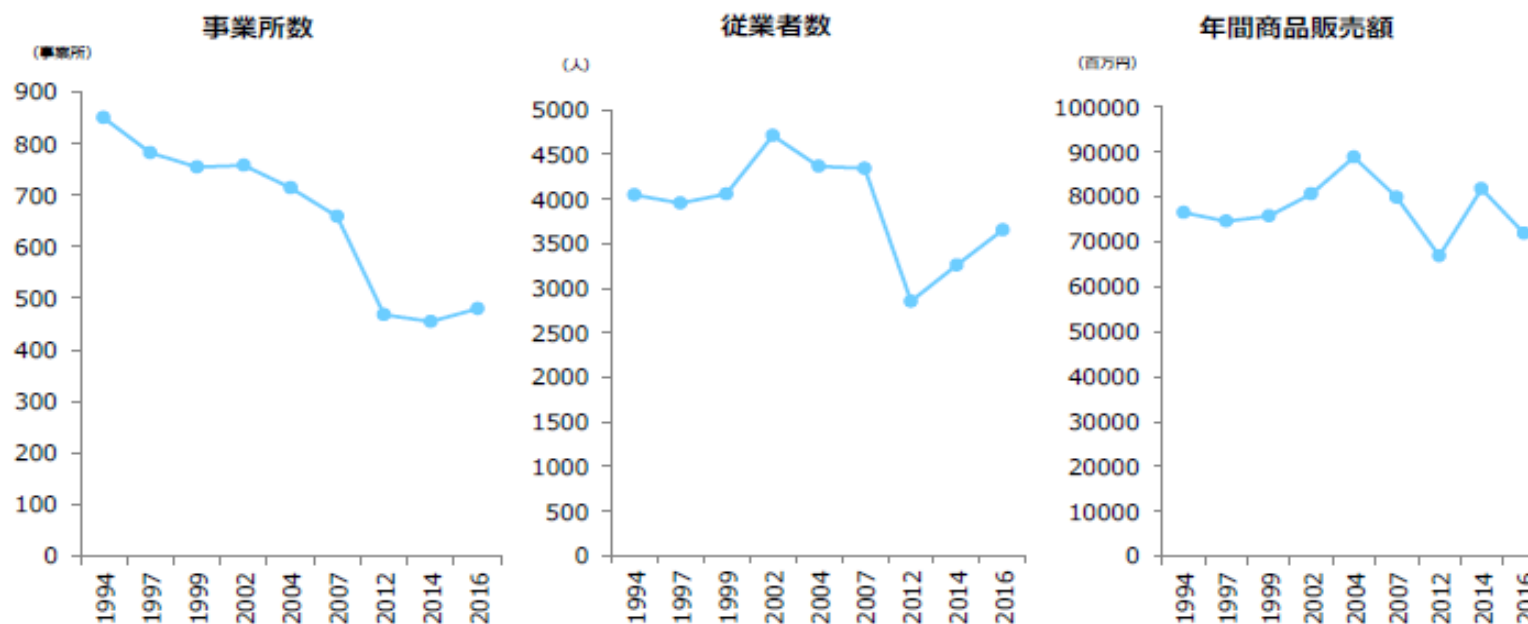


出典： 経済産業省「工業統計調査」再編加工、総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」再編加工、総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」  
 留意点：・凡例の数値は最新年の数値を指す。  
 ・従業員数4人以上の事業所が対象。

## 小売業事業所数・従業者数・年間商品販売額の推移

13

- 小売業の事業所数は右肩下がりの傾向が続いていたものの、およそ2012年に下げ止まった。
- 従業者数は2007年→2012年に一時的に減少したものの、以降はやや回復基調にある。
- 年間商品販売額はほぼ横ばいの傾向。



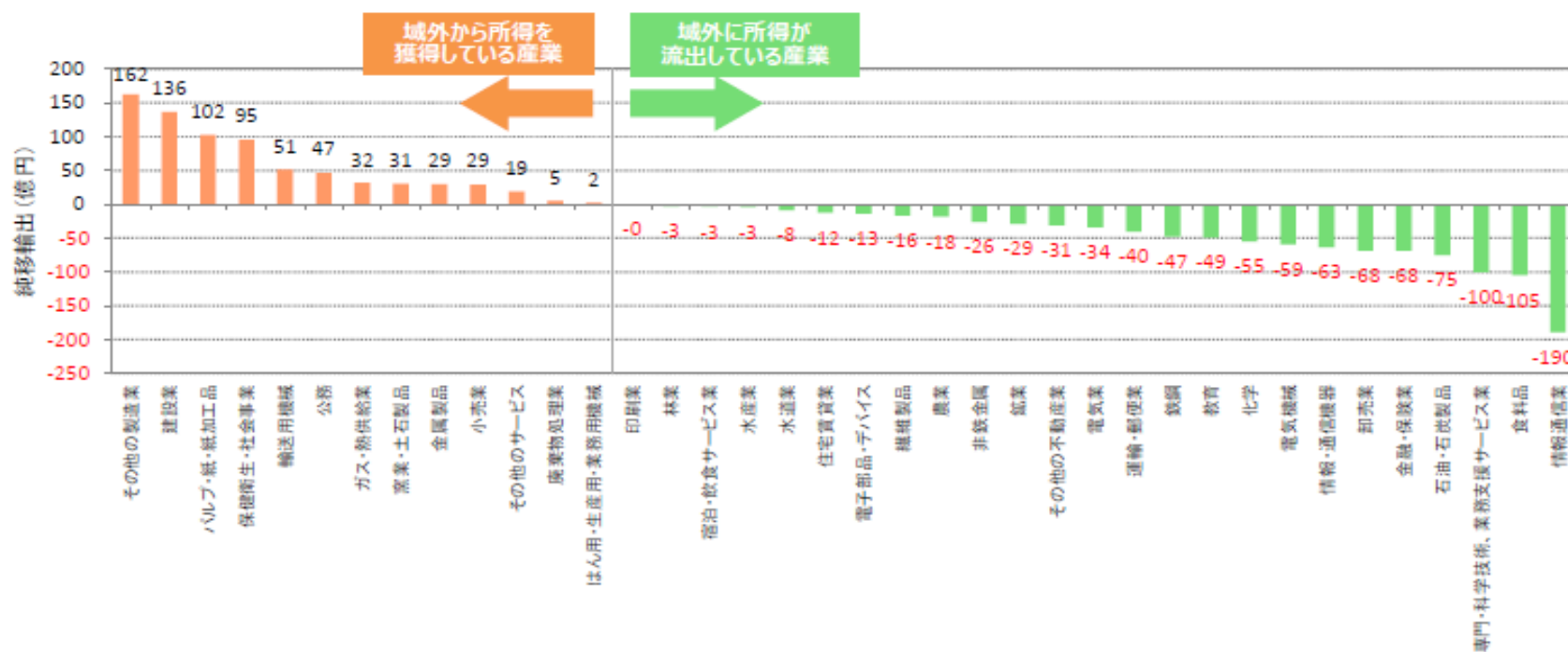
出典：経済産業省「商業統計調査」 総務省・経済産業省「経済センサス－活動調査」

注記：2007年以降は、日本標準産業分類の大幅改定の影響や、「商業統計調査」と「経済センサス－活動調査」の集計対象範囲の違い等から、単純に調査年間(表示年)の比較が行えない。

## 域外から所得を獲得している産業は何か

- 域外から所得を獲得している産業はその他の製造業、建設業、パルプ・紙・紙加工品、保健衛生・社会事業等である。これらは、域内での生産額が大きい産業であり、地域で強みのある産業といえる。

### 産業別純移輸出額

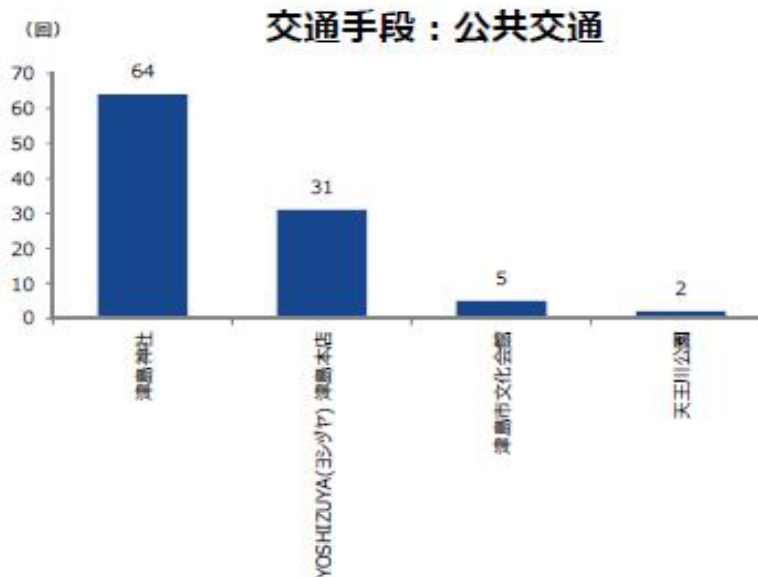
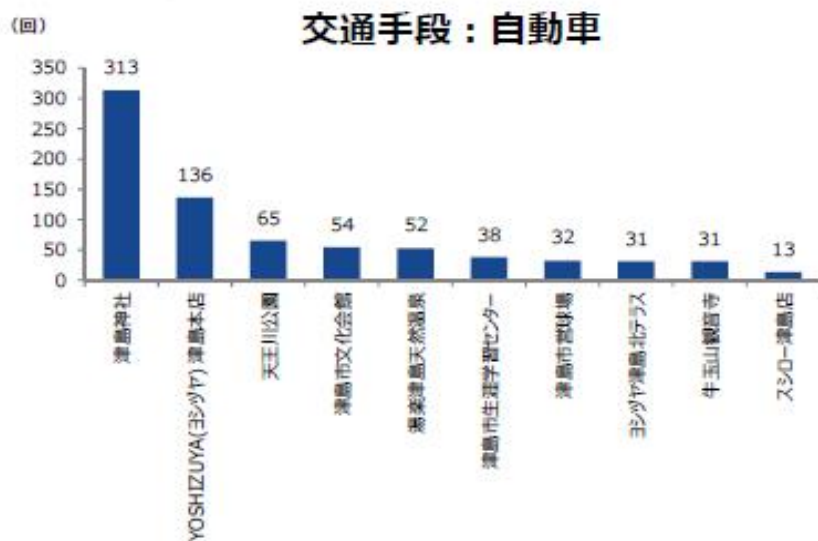


出典：環境省「地域産業連関表」、「地域経済計算」(株式会社価値総合研究所(日本政策投資銀行グループ)受託作成)

注)GDP統計上、不動産業(ここでは住宅賃貸業)には、実際には家賃の受払いを伴わない帰属家賃が含まれている。

# 市内の観光地・施設(2019年休日)

■ 地域で検索されている回数が多い観光地・施設は、以下のとおり。



出典：株式会社ナビタイムジャパン「経路検索条件データ」 注記：検索回数は、同一ユーザの重複を除いた月間のユニークユーザ数。

■ トリップアドバイザーにおいて人気・評価が高い観光地・施設は次のとおり。

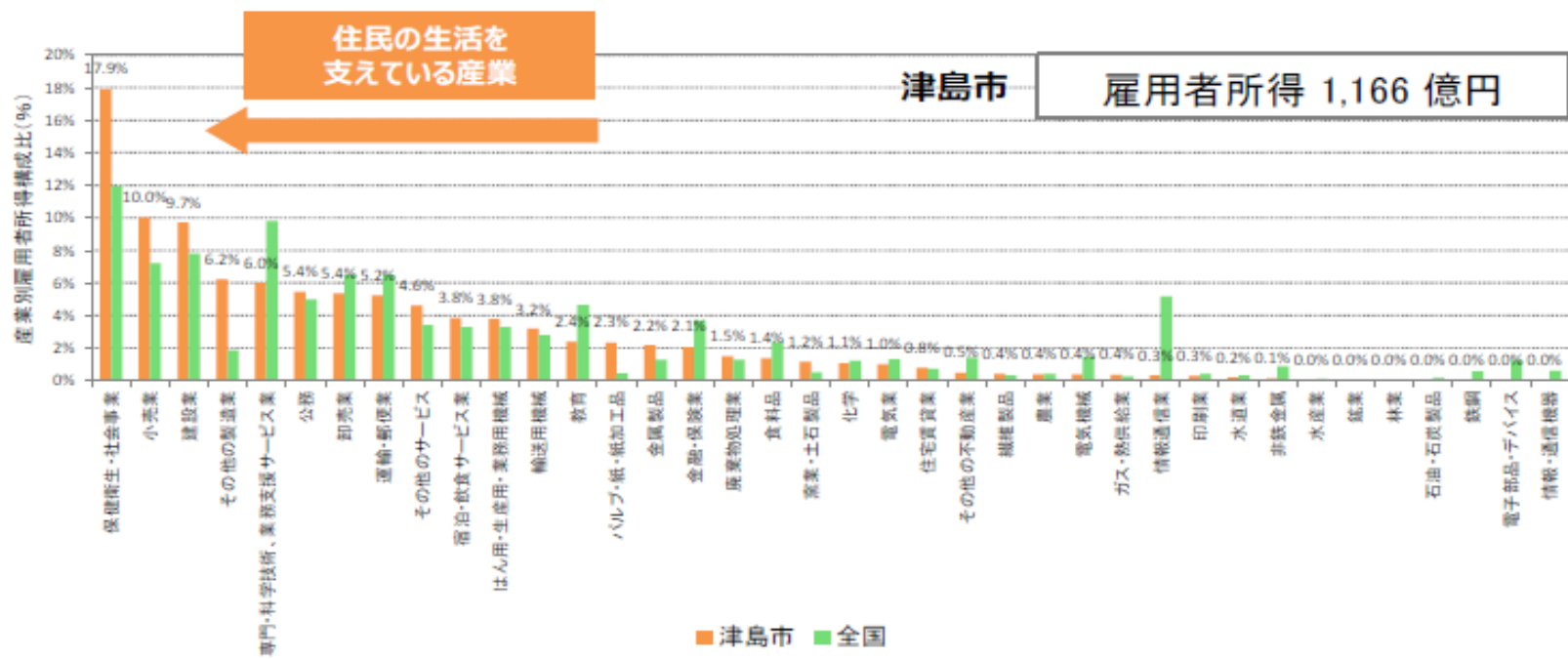
雲閑寺 ★★★★☆ 4 神社/寺院/教会など	観音寺 ★★★★☆ 6 神社/寺院/教会など	津島神社 ★★★★☆ 80 神社/寺院/教会など	天王川公園 ★★★★☆ 79 公園	龍洞寺 ★★★★☆ 4 神社/寺院/教会など	堀田家住宅 ★★★★☆ 18 旧跡

出典：トリップアドバイザー

# 雇用者所得を生み出している産業は何か

- 住民の生活を支える雇用者所得への寄与が大きい産業は、保健衛生・社会事業、小売業、建設業、その他の製造業、専門・科学技術、業務支援サービス業である。

## 産業別雇用者所得構成比



出典：環境省「地域経済循環分析用データ」、総務省統計局「国勢調査」より作成

注)GDP統計の不動産業には帰属家賃が含まれており、地域経済循環分析用データの産業分類では第3次産業の住宅賃貸業に帰属家賃が含まれている。帰属家賃は、実際には家賃の支払いを伴わないものであるため、これを含む場合と含まない場合の2パターンで労働生産性を作成している。

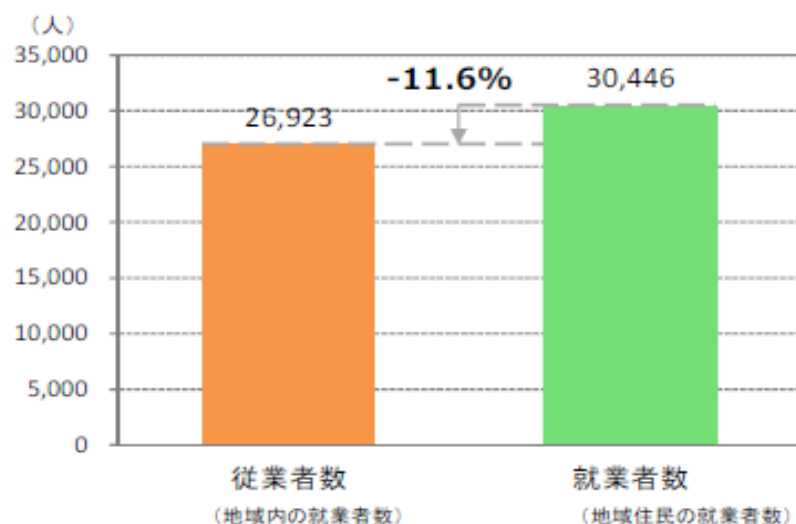


## 就業者の規模

24

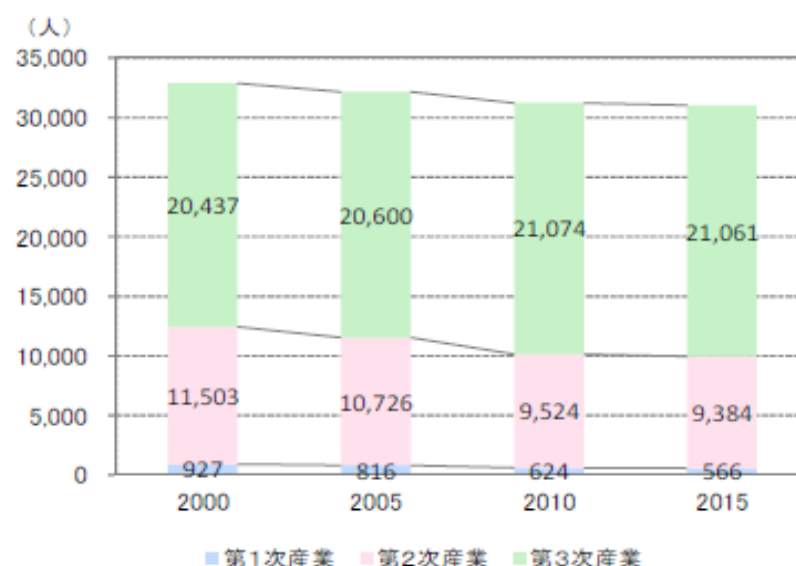
- 従業者数(地域内の仕事の数)が就業者数(働いている住民の数)の▲11.6%で、域内の住民が域外に働きに出ている傾向。
- 2015年の就業者数は2000年と比較して減少している。産業別には、第3次産業で増加しているが、第1次産業、第2次産業で減少している。

### ① 就業者数と従業者数(2015年)



注)従業者数は、従業地における就業者の数(域外からの通勤者を含む)である。  
就業者数は、常住地の住民の就業者の数(域外への通勤者を含む)である。  
出所：総務省「国勢調査」より作成

### ② 産業別就業者数の推移



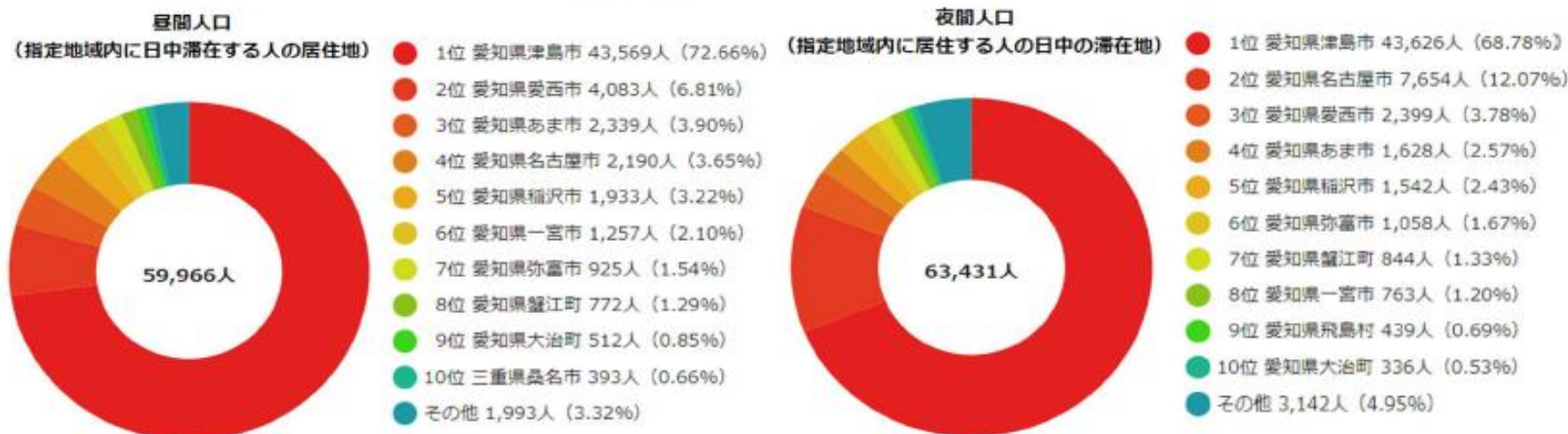
出所：総務省「国勢調査」より作成

## 通勤通学人口・地域間流動

- 夜間人口が昼間人口を上回っており、域内の住民が通勤、通学のために域外に出ている状況。
- 域外から域内への流入元地域は、愛西市、あま市、名古屋市等。
- 域内から域外への流出先地域は、おおよそ上記と同様の傾向。

2015年 愛知県津島市

昼間人口：59,966人  
 夜間人口：63,431人  
 (昼夜間人口比率：94.54%)



注) 昼間人口：就業者または通学者が従業・通学している従業地・通学地による人口であり、従業地・通学地集計の結果を用いて算出された人口。

出典：総務省「国勢調査」

夜間人口：地域に常住している人口である。

昼夜間人口比率：夜間人口100人当たりの昼間人口の割合であり、100を超えているときは通勤・通学人口の流入超過、100を下回っているときは流出超過を示している。

通勤者：自宅以外の場所で就業する者。

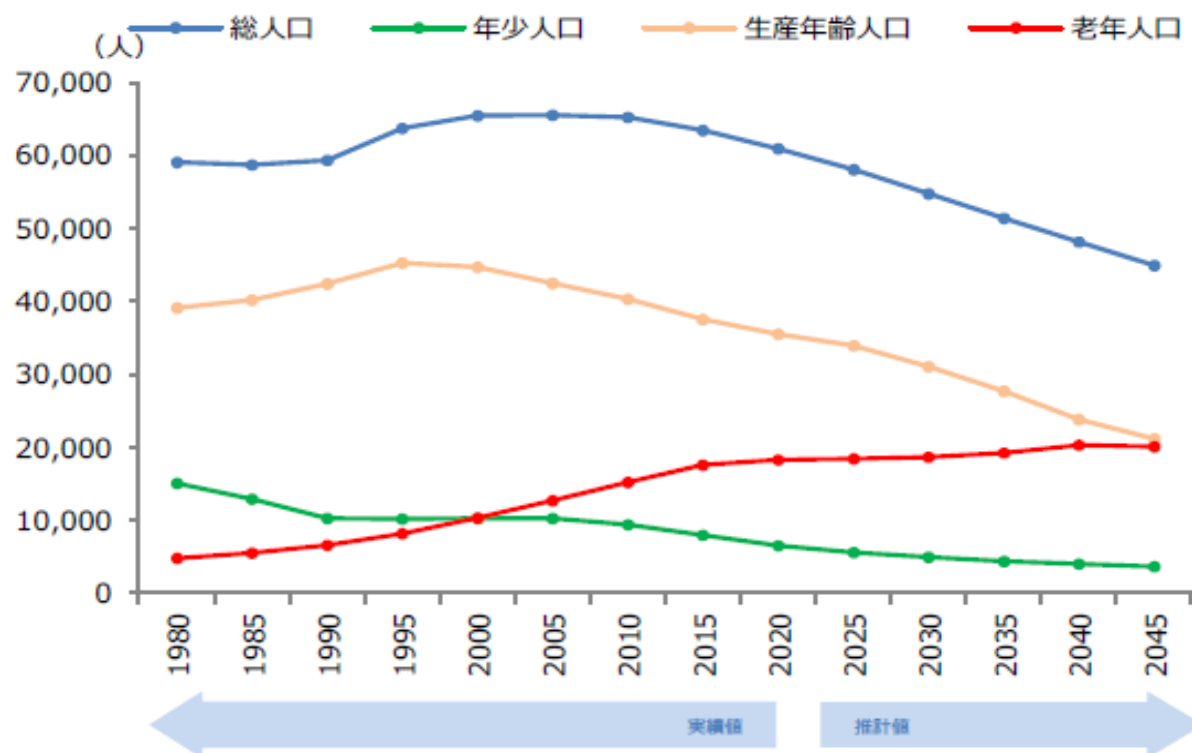
通学者：この画面においては、15歳以上の主に通学(各種学校・専修学校を含む)をしている者。

「滞在人口の月別推移」ページで使用している昼間人口等は、出典が株式会社NTTドコモ・株式会社ドコモ・インサイトマーケティング「モバイル空間統計®」であるため、数値が異なる場合がある。

## 市内人口の推移

26

- 総人口は2005年頃をピークに、生産年齢人口は1995年頃をピークに、その後は緩やかに減少していくことが見込まれている。
- 年少人口は減少する一方で、老年人口は増加する見込み。



出典：総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」  
注記：2020年以降は「国立社会保障・人口問題研究所」のデータ(平成30年3月公表)に基づく推計値。